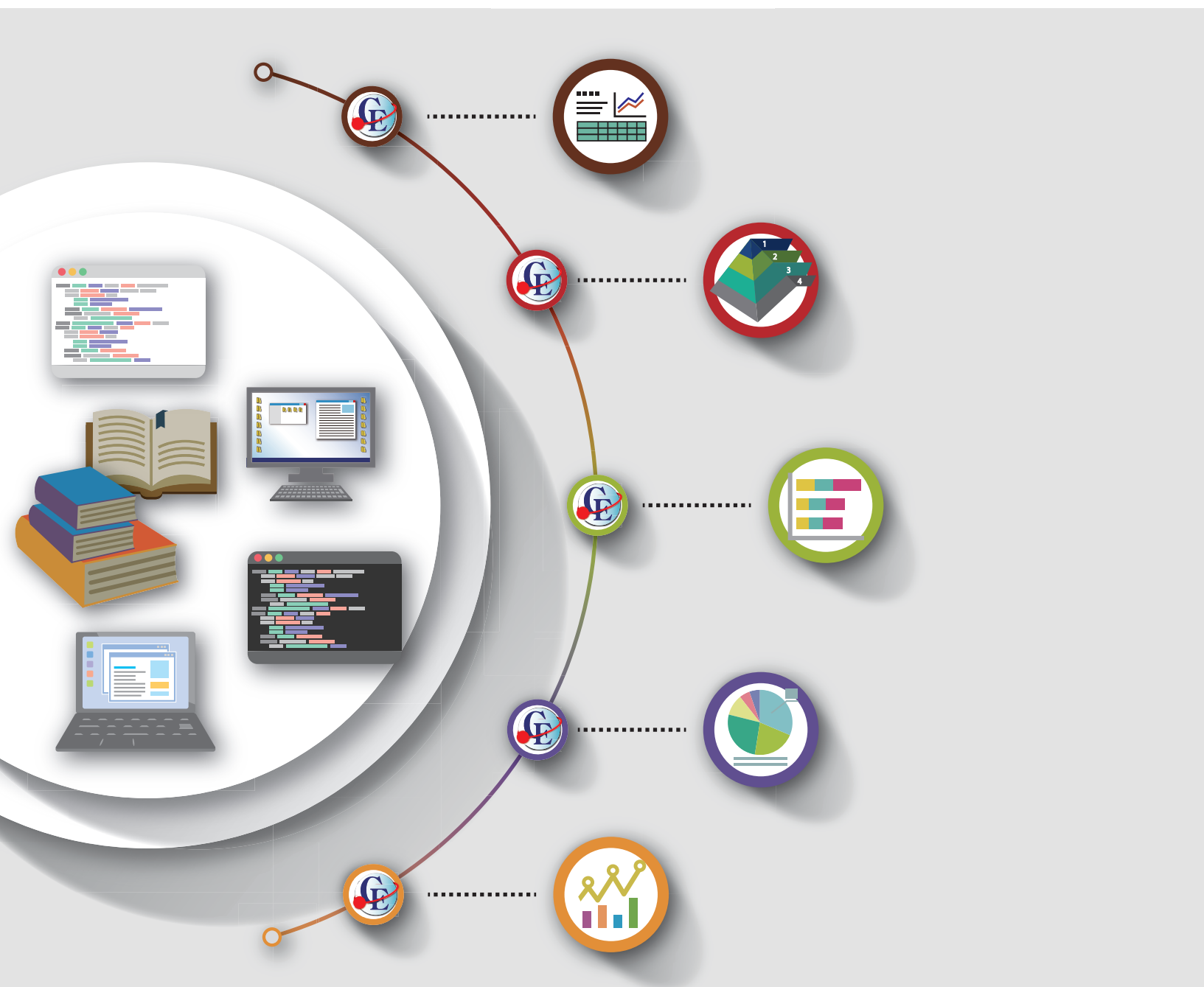




CoreExplorer

膨大なテキスト情報を素早く分析し
業務改革につながる新たな知識を掘り起こす



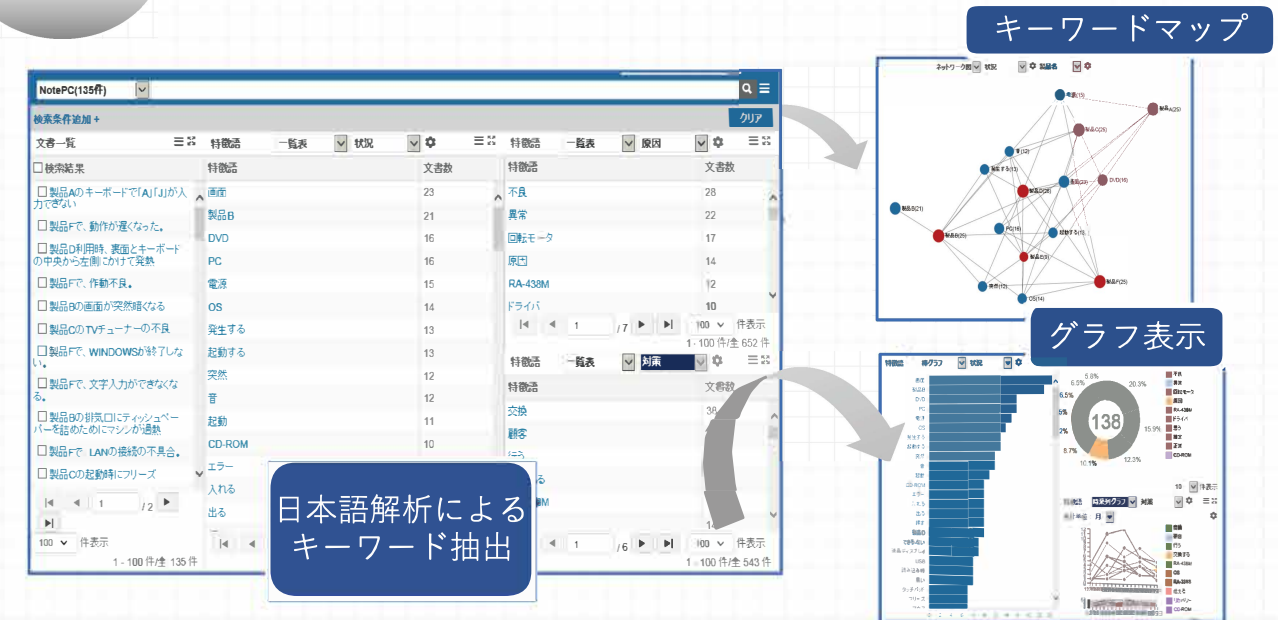
CoreExplorerでテキスト情報から 有益な情報を抽出し、課題把握・解決に活用！



CoreExplorerは様々なシーンで活用されています

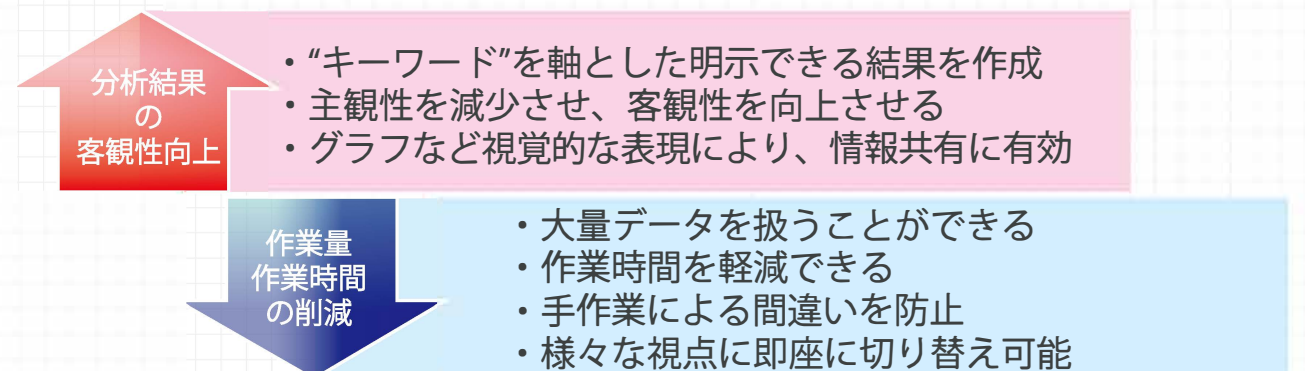


特長 「CoreExplorer」の5つの特長



- 特長1** テキスト情報の分析をクリック操作で簡単にできる
- 特長2** フリーテキストだけでなく属性部分も合わせた分析・集計が可能
- 特長3** Webシステムのためクライアントへのインストールが不要
- 特長4** OSSとの組み合わせにより大規模データに対応
- 特長5** 自社開発のためお客様の要望に応じたカスタマイズが可能（個別見積）

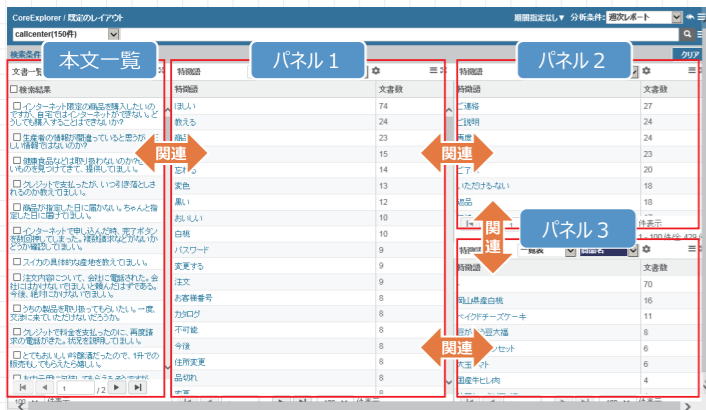
導入効果 「CoreExplorer」の導入効果



テキスト情報から有益な情報を抽出し、
ビジネスの課題把握・解決に活用できます。

CoreExplorerの機能

多彩な機能で分析サポート



● 主な話題や関連性を発見

テキストから特徴語を自動抽出し、特徴語ランキング一覧を表示します。よくある問合せや故障内容を定量的に探ることが容易になります。特徴語をクリックすることで、共起関係にある特徴語の発見、属性間の関連性を瞬時に把握することができます。分析者の思考を妨げないスムーズな操作性により、分析効率が上がり、新たな発見が可能です。

● 話題の傾向を把握

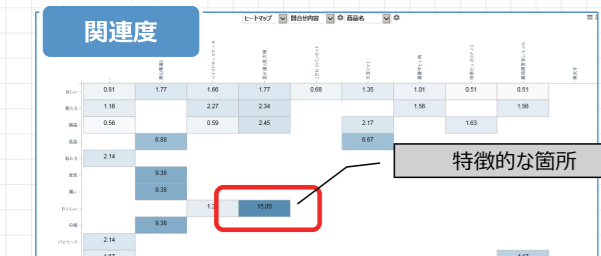
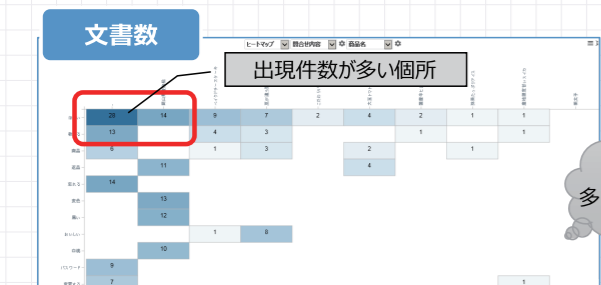
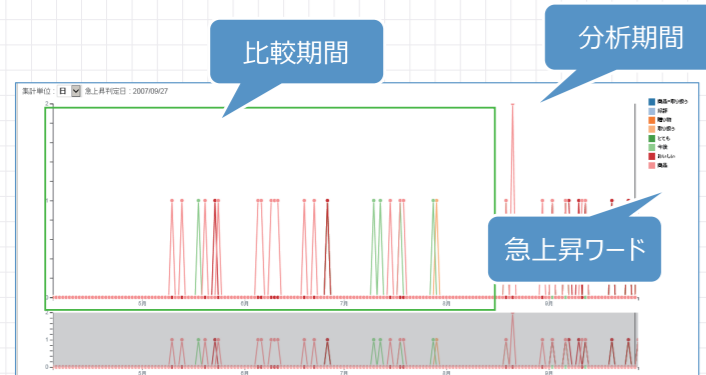
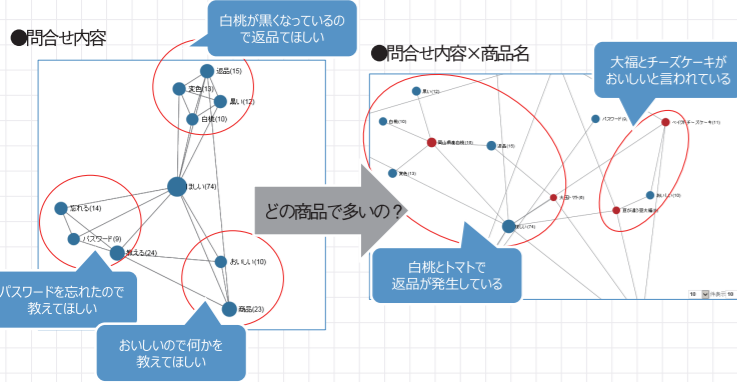
関連する特徴語を近くにまとめて表示するキーワードマップ表示や、キーワードのまとめごとにより内容を確認できるため、話題の傾向を把握することができます。人が読んでも把握しきれない関連性を可視化し、わかりやすく表示することにより、新たな知識の発見につながります。

● 急上昇ワード抽出による課題の早期発見

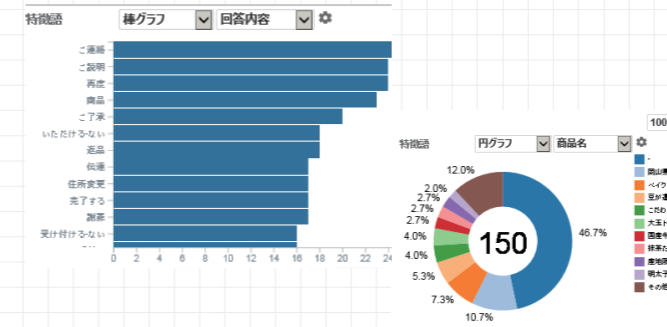
膨大なキーワードの中から特定の期間に急上昇しているキーワードを分析し、過去に遡ったグラフを作成します。人手では気が付かなかったこれから増える可能性のあるキーワードを発見できます。

● ヒートマップによる注目箇所の把握

キーワードや属性をヒートマップで表示し数が集中している箇所を視覚的に把握します。件数が多いものだけでなく関連度を計算し特徴的な組み合わせを表示できます。



分析結果の可視化で共有が容易に

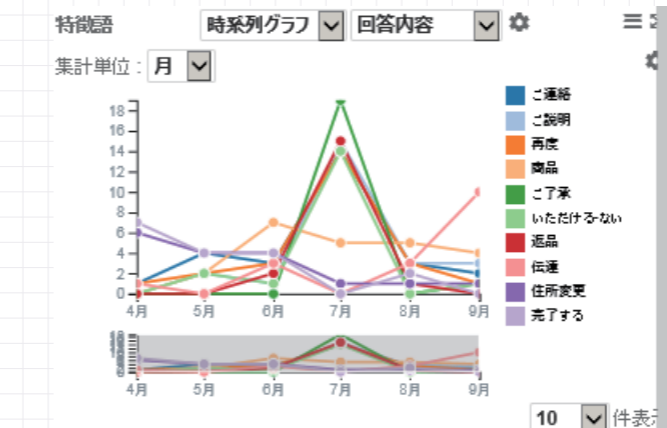


● 結果をグラフでまとめる

頻出するクレームの特徴語の件数や、問合せの割合などを円グラフ、棒グラフ、クロス集計グラフを使い可視化し、分析が行えます。分析結果をグラフ化することで、全体像や課題が明確になり、組織内での情報共有が容易です。

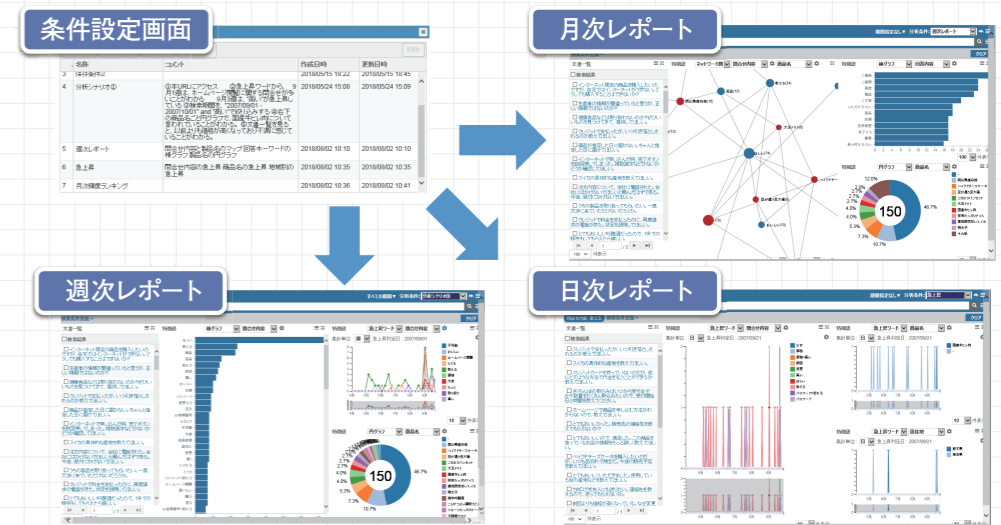
● 時系列で話題の変動を把握

気になる話題の変動を時系列グラフを使い把握することができます。増加傾向にあるクレームや、頻りにクレームが寄せられる時期の発見に役立ちます。また、改善実施後の効果を把握する手段としても、特徴語の時系列変動の分析は有効です。



● ダッシュボードによるレポート作成の効率化

ダッシュボード機能を使うことで定期的な分析作業が自動で行えます。複数の条件を保存できるので月次、日次の分析結果をアクセスするだけで確認できます。



データ管理と辞書整備

● 辞書登録で表記ゆれに対応

同じ意味でもテキスト中で表現が違う言葉など、同義語として登録することができます。実データを修正する必要はありません。

● データへのアクセス権設定が可能

ログインユーザ別、グループ別、ロール別に分析対象のデータへのアクセス権の設定が可能です。参照権限の設定より、情報の機密性が確保されます。

その他管理機能

- DB自動更新スケジュール設定
- 辞書登録
- 同義語辞書登録
- ストップワード登録
- 辞書一括登録・出力

CoreExplorerを使った分析

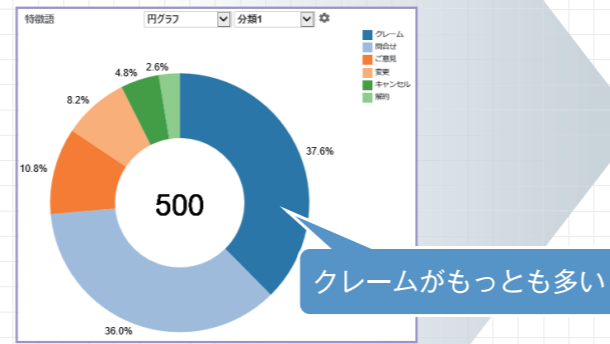
よくある問合せを把握し業務改善策の立案に活用

お客様の声分析

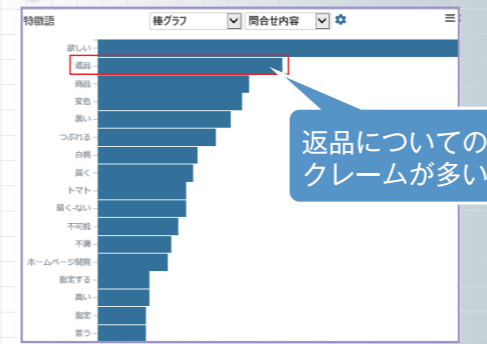
テキスト情報
コールセンターに集まる
お客様からの問合せ・クレーム



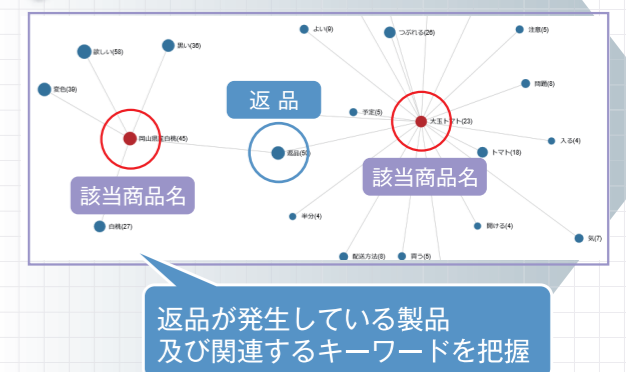
STEP 1 問合せ分類を把握し深掘ポイントの分析



STEP 2 クレームの詳細内容を分析



STEP 3 クレームに関する製品との関係を分析



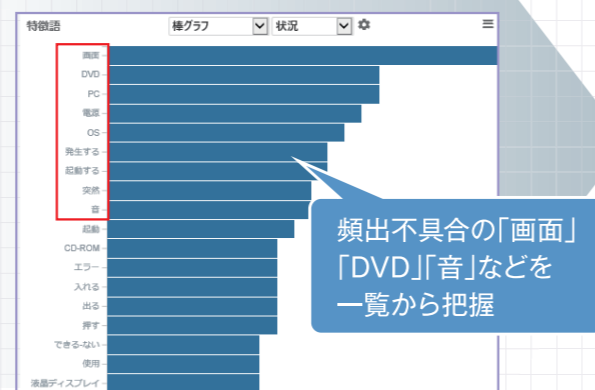
故障報告書分析

故障の状況と原因の因果関係を発見し製品の品質改善に活用

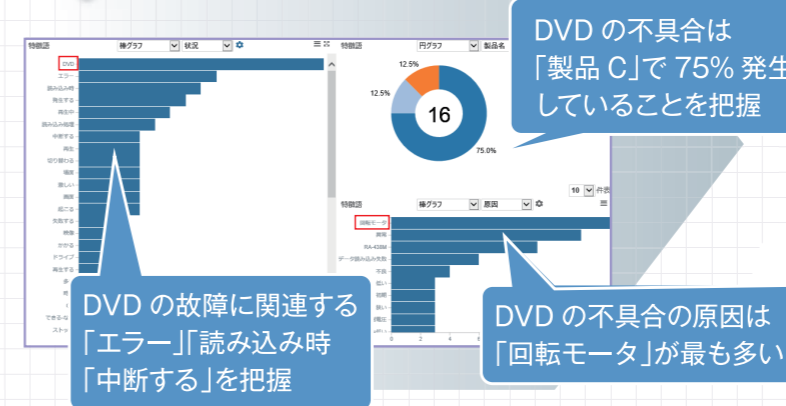
テキスト情報
品質保証部に集まる製品の
故障報告書・不良報告書



STEP 1 頻出故障キーワードを分析



STEP 2 故障情報に関わる製品や原因との関係を分析



STEP 3 故障情報のトレンドを分析



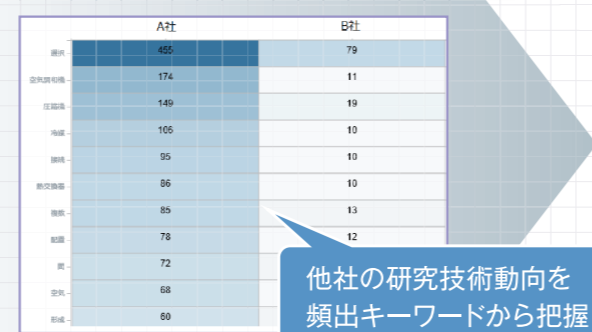
特許分析

自社・他社の特許比較から技術動向を調査し戦略立案に活用

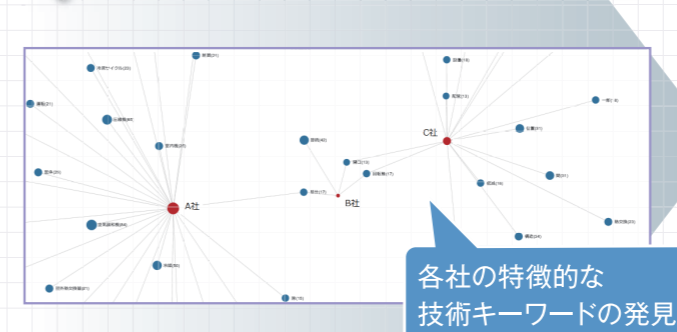
テキスト情報
公開済み特許情報
ニュース記事



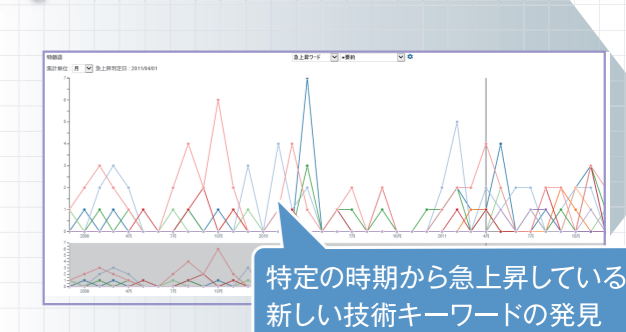
STEP 1 自社・他社の出現キーワードを比較分析



STEP 2 各社の特徴的な出現キーワードを分析



STEP 3 急上昇している技術キーワードを分析



サービスメニュー

導入時のご相談から運用・保守管理まで様々なサービスメニューをご用意しています。

サービス名称	概要
ナレッジソリューション	お客様のご要望をヒアリングしテキストマイニング導入のお手伝いを致します。
テキスト分析サービス	お客様がお持ちのデータを元にテキスト分析のアウトソーシングサービスを行います。
導入基本サービス	業務フロー設計、システム詳細設計等を実施しCoreExplorerを活用したアプリケーションシステムを導入致します。
導入カスタマイズサービス	CoreExplorerのテキストマイニング技術を使ったシステム開発を行います。 【カスタマイズ例】 ・ KnowWho検索システム ・ VOC (Voice of Customer)分類システム ・ ナレッジポータル検索システム 他多数
保守サービス	製品に関するさまざまなお問い合わせにお答えします。

「テキスト情報の分析は難しそう」と思った方には！！

CoreExplorerを利用したテキスト分析の「コンサルティングサービス」をご活用下さい。

■このようなお客様にご利用をお勧めします。

テキストマイニングをしたいが、ソフトウェアを購入しても使いこなすのが難しい。

担当者への教育／学習コストもあり、テキストマイニングソフトウェアの購入には二の足を踏んでいる。

テキストマイニングには興味があり、自社のデータを分析して業務改善に活用してみたい。

■分析方法の提案から分析作業、その後の業務への活用方法の提案までまとめて行います。



コンサルティング事例

● マーケット分析

● コールセンターへの問合せ分析

● 顧客満足度分析

● 特許情報分析

他多数

- 検索/分析エンジンは、elastic社のKibana、Elasticsearchを使用しています。
- 形態素解析には、奈良先端科学技術大学院松本研究室の「茶釜」を使用しています。
- CoreExplorerは株式会社日立ソリューションズ東日本の登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制をご確認のうえ、必要な手続をお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。



この印刷物は
植物油インキで
印刷しています。

■ 開発および販売元

株式会社 日立ソリューションズ東日本

ホームページ

<http://www.hitachi-solutions-east.co.jp/>

E-mail

hse-info@hitachi-solutions.com

■ 販売店名